

学校評価の結果公表について

早春の候 保護者ならびに地域の皆様には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も皆様に学校評価アンケートを依頼いたしました。多くの方々から御回答をいただきありがとうございました。ここに、以下のとおり、その集計結果等をお知らせいたします。

1 実施日

平成 29 年 10 月 26 日配布

平成 29 年 11 月 2 日提出締切

2 集計結果

- | | | |
|---------|----------|----------------------------|
| (1) 生徒 | 1, 209 名 | (回収率: 99.8% 在籍数: 1, 211 名) |
| (2) 保護者 | 1, 199 名 | (回収率: 99.0% 在籍数: 1, 211 名) |
| (3) 職員 | 96 名 | (回収率: 100% 依頼数: 96 名) |

詳細は集計結果をご覧ください。

3 主な自由記述

生徒・保護者及び教員から多くの本校の良さについて記述していただきました。また、反対に課題として挙げられた主な内容は以下のとおりです。

- (1) 設備・施設の改善要望について。
- (2) 授業・補習の充実・改善について。
- (3) 進学指導の充実について。

4 学校関係者評価及び意見

1 月 23 日に実施した学校評議員会で、以下のご意見をいただきました。

- (1) 自転車のマナーが守られており、大変素晴らしい。最近、自転車による重傷死亡事故が発生している。ひとりでも不幸な学生を出さないため、引き続き、自転車のマナー指導をお願いしたい。
- (2) 部活動と学習の両立について。予習復習する時間がとれているのか。
- (3) 商工会では小学生の授業参観や職場体験を行っているが、船橋には“大型店協議会”というものがあり、イオン・東武が 100 人ほどの職業体験を行うらしい。高校生の職業体験、職場体験も面白いのではないか。またそういうご協力ができることを楽しみにしている。
- (4) 本校の創立から登校下校の様子を 60 年間、見てきた。今がいちばんしっかりとした態度で登下校されている。学校での教育がしっかりと整えられているから、それが生徒さんの姿に出ているのではと思う。
- (5) 大雪の際、朝早くから本校の生徒さんがシャベルを持って道路へ出てきてくれ、除雪をしてくれた。本校の生徒は意識的に地域貢献をするのではなく、自然と貢献している姿をいろいろな場面で見ると。ほかの高校では見られない、素晴らしいことだと思う。

- (6) 生徒・保護者のアンケート回収率が、ほぼ 100%近いことは素晴らしい。アンケートの評価結果は、市船の教育に対する信頼度を示すものと思う。教育への信頼というのは教育の基本であるので、このパーセンテージは素晴らしい。
- (7) 本校はスポーツで全国的に有名な学校だが、スポーツで実力を発揮できたことが、生徒の性格にまで影響したと思う。文武両道というが、“武”の優秀校であるということは引き続き誇りとして持ってほしい。それと同時に、私の願いは一人ひとりの生徒が、自分の目標が達成できたと満足して卒業していくことだ。自分の目標とした大学、高等専門学校、就職先へ十分な意識を持って進むことが、“文”の成功に入ると思う。
- (8) 『父母と教師の会』と学校の総務部との関係は良好であり、保護者と教員の間が密に、かつ堅苦しさのない中で自分の思いというものを教員に告げることができ、教員もそれを快く受けてくれ、日々変わってきた気がする。おかげ様で理事の出席率も毎年増えていく一方で、さまざまな意見も出て、各委員会も楽しみながら活動できるという状況が続いている。この点に関しては学校側にも感謝している。
- (9) アンケートにはあまり出てこなかったカウンセリングについてだがスクールカウンセラーがきちんと機能していると思った。毎週木曜に“教育相談連絡会”が機能しており、このほかにスクールカウンセラーが1対1で問題等に直面して話をしていくなどの個々の場面があると思う。思春期のお子さんは友人、家族関係、これからの生き様などいろいろなジャンルに悩む年頃で、悩むからこそ成長していくもの。そういった時期にカウンセリングという一助があるのは、とてもよいことだ。
- (10) 人生を後から振り返ったとき、高校生活が素晴らしい時代だったと思えるのは、友人の存在もあるが、先生方の生き様みたいなものが伝わると思う。生徒の周りにいる大人として、教師が自信を持って人生を謳歌していることが、子どもにもエンパワーするのではないか。先生方は子どものことだけではなく、自らのパーソナリティに目を向けることもしていただければと思う。
- (11) アンケートの保護者の回答数が非常に高い。これは学校に期待しているということだ。記述式のアンケートでも要求が多いが、それも期待の表れ。なんとか応えてあげる体制を作っていただければありがたいと思う。
- (12) シラバスを利用している生徒が少ない。どのように子どもたちに伝えていくか、再検討しなければならないと思う。時間をかけて作っている資料を、うまく使えるように努力していかなければいけないのではと思う。
- (13) “1時間、1時間の授業が勝負だ”という考え方をひとりひとりの先生、各学年、そして学校全体として持たないと、市船の文武両道はできないと思う。センター試験の入試も変わっていくと思うが、1時間ごとの授業が勝負だと確認して臨んでいただければと思う。
- (14) 3カ年皆勤の生徒が非常に多いのは、やはり学校が楽しいのだと思う。ぜひ厳しく当たる場所は厳しくしていただければ、なお伸びていくと思う。
- (15) “深夜徘徊”“喫煙”“怠学”などを行った“不良行為少年”として、船橋警察の管内で約 2000 人を補導した。その中に、市船の生徒の名がひとりもない。これは奇跡的な数字だと思う。この学校はむやみに早退させないなど、指導が行き届いていると思う。

5 今後に向けて

お寄せいただいた評価結果やご意見は、次年度に向けた改善に活かし、更なる学校教育の充実に向け、教職員一丸となって取り組んで参りたいと思います。

今後とも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。